

# 津地区の景況調査

平成21年上期実績と下期見通し  
(平成21年7月調査)

津商工会議所・中小企業相談所

## も く じ

調査概要	1
調査結果	4
1 現状と今後の見通し	4
2 売上状況と来期の見通し	6
3 売上の現状	7
4 利益状況	8
5 販売条件と仕入条件	9
6 設備投資	11
7 資金繰りの動向	11
8 借入の動向	13
9 借入予定と借入希望先	13
10 経営上の問題点	15
11 貸渋り・貸剥しの状況	17
調査票	18

## ・ 調 査 概 要

- 1 . 調査目的            本調査は、津地区企業の景況を調査し、その動向を分析して地域事業所の経営管理に役立つ資料を提供することを目的とする。
- 2 . 調査対象            津商工会議所会員でFAX登録されている2,380企業を対象に実施しました。
- 3 . 調査方法            FAX送付によるアンケート方式
- 4 . 調査期間            平成21年7月1日～7月17日
- 5 . 調査対象期間       平成21年1～6月実績と平成21年7～12月見通し
- 6 . 回収集計数        回収集計数企業732（回収集計率30.7%）  
                              うち小規模企業497
- 7 . 調査機関            津商工会議所・中小企業相談所

### D I - Diffusion . Index ( デイヒュージョン・インデックスの略 )

本文のD Iとは、景気動向を示す指標で、調査時点における企業家の経済行動（強気や弱気など）を知るものであり、景気動向を客観的に判断する資料として幅広く使用されているものとくに言及のない限り、前期に比べて「増加」「好転」する企業の割合から「減少」「悪化」したとする企業の割合を差し引いた値である。

### B . S . I 値 ( ビジネス・サーベイ・インデックス ) の見方について

B . S . I .とは、景気動向を示す指標で、調査時点における企業家の経済行動（強気や弱気など）を知るものであり、景気動向を客観的に判断する資料として幅広く使用されているもので、とくに言及のない限り「増加」「好転」したとする企業割合から「減少」「悪化」したとする企業割合を差し引いた値を2で割った値である。

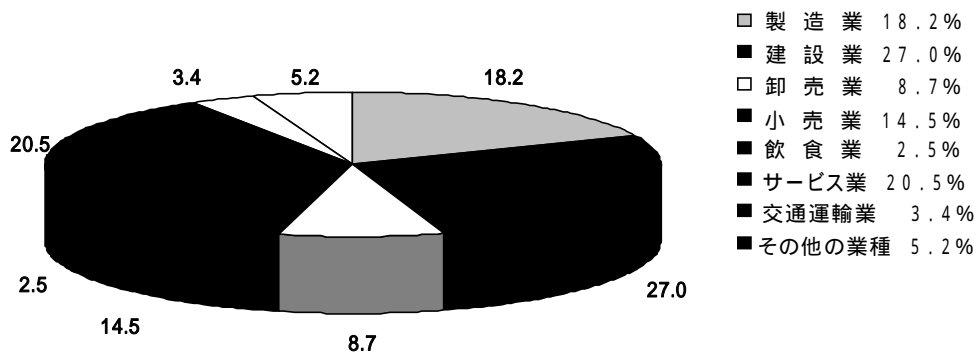
(注) 図表中の数値表示について

図表中の数値については小数点以下第2桁で四捨五入をしているため、合計が100.0にならない場合があります。

# 回答状況

## 業種別回答比率

(単位：%)



## 業種別従業員規模

(単位：上段 - 企業数・下段 - %)

従業員数 産業別	0～5人	6～20人	21～50人	51～100人	101人以上	計
	全産業	395 54.0	181 24.7	69 9.4	35 4.8	52 7.1
製造業	54 40.6	32 24.1	19 14.3	12 9.0	16 12.0	133 100.0
建設業	121 61.1	56 28.3	13 6.6	3 1.5	5 2.5	198 100.0
卸売業	25 39.1	25 39.1	10 15.6	2 3.1	2 3.1	64 100.0
小売業	72 67.9	14 13.2	6 5.7	3 2.8	11 10.4	106 100.0
飲食業	10 55.6	4 22.2	1 5.6	0 0.0	3 16.7	18 100.1
サービス業	84 56.0	36 24.0	12 8.0	9 6.0	9 6.0	150 100.0
交通運輸業	8 32.0	6 24.0	5 20.0	4 16.0	2 8.0	25 100.0
その他の業種	21 55.3	8 21.1	3 7.9	2 5.3	4 10.5	38 100.1

## 全 産 業 D I

	業況判断	売り上げ	利益状況	販売条件	仕入条件	資金繰り
21年7月～12月見通し	59.6	56.1				41.7
21年1月～6月実績	65.4	61.0	62.6	56.0	30.2	40.2
20年7月～12月実績	65.4	60.7	64.4	53.6	40.3	41.7
20年1月～6月実績	56.2	41.0	52.7	42.5	49.2	32.4

## 産 業 別 D I (21年1～6月期)

	業況判断	売 上	利益状況	販売条件	仕入条件	資金繰り
製 造 業	60.9	60.9	57.9	51.8	25.5	42.1
建 設 業	73.3	61.6	68.2	58.1	35.8	41.0
卸 売 業	64.1	64.1	62.5	57.8	31.2	37.5
小 売 業	60.4	67.0	59.5	59.4	32.1	30.3
飲 食 業	66.6	22.2	78.7	44.5	38.9	66.7
サービス業	51.8	64.0	61.4	54.7	26.0	43.4

# 調査結果

## 1. 現状と今後の見通し(表-1、図-1・2参照)

今期調査より対象企業を小規模企業からFAX登録されている全会員企業に拡大して実施。  
従って今期に限って全体での比較はしていません。

### (1) 現況

全産業の業況判断DIは、今期実績値 65.4、小規模企業では 70.6と小規模企業での厳しさが窺えるものとなった。

産業別に見ると、建設業で 73.3と最も高い数値となり、次いで飲食業、卸売業の順となった。最も低い数値はサービス業の 51.8であった。

一方、小規模企業では全ての産業において全体のDI値を上回るものとなり厳しさが窺える。

### (2) 今後の見通し

全産業の今後の見通し判断DIは 59.6と、今期の現状実績値 65.4と比べ5.8ポイントマイナス幅が縮小し、やや改善見込みとなっている。

小規模企業での見通し判断DIは全体で 60.0と、今期の現状実績値 70.6と比べ10.6ポイントマイナス幅が縮小し、全体に比べ改善幅が大きい見込みとなっている。

産業別では、製造業と建設業では改善見込みとなり、それ以外の業種では現状実績値と同じ値となっている。

一方、小規模企業では全ての業種で改善見込みとなり、卸売業で12.0ポイント、建設業で11.3ポイント、サービス業で10.6ポイント、飲食業で10.0ポイントの改善見込みとなっている。

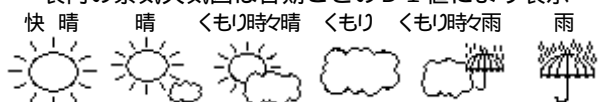
表-1 経営の現状と今後の見通し

期 産業	実績			来期の 見通し	期 産業	実績			来期の 見通し
	20年1 ~6月	20年7 ~12月	21年1 ~6月	21年7 ~12月		20年1 ~6月	20年7 ~12月	21年1 ~6月	21年7 ~12月
全産業	56.2	65.4	65.4 (70.6)	59.6 (60.0)	全産業				
製造業	52.8	64.8	60.9 (67.4)	51.8 (60.4)	製造業				
建設業	52.0	57.7	73.3 (74.6)	63.2 (63.3)	建設業				
卸売業	60.0	88.2	64.1 (76.0)	64.1 (64.0)	卸売業				
小売業	71.5	80.6	58.4 (69.4)	58.4 (62.5)	小売業				
飲食業	65.0	58.8	66.6 (70.0)	66.6 (60.0)	飲食業				
サービス業	48.6	51.8	63.9 (65.4)	63.9 (54.8)	サービス業				

DI = 好転(良い、やや良い)の割合 - 悪化(やや悪い、悪い)の割合 はマイナス表示

下段( )内DI値は小規模企業

表内の景気天気図は各期ごとのDI値により表示



景気判断DI

50以上100 25以上 0以上 25以上 50以上 100  
50未満 25未満 0未満 25未満 50未満 50未満

図 - 1 津地区の経営の現状と見通し

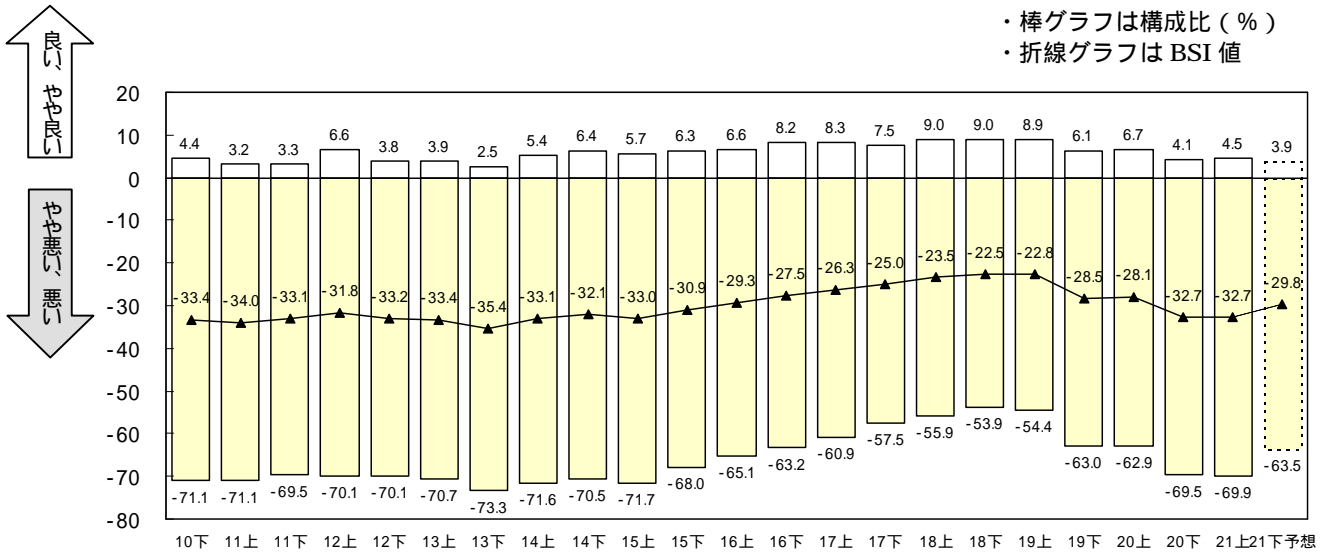
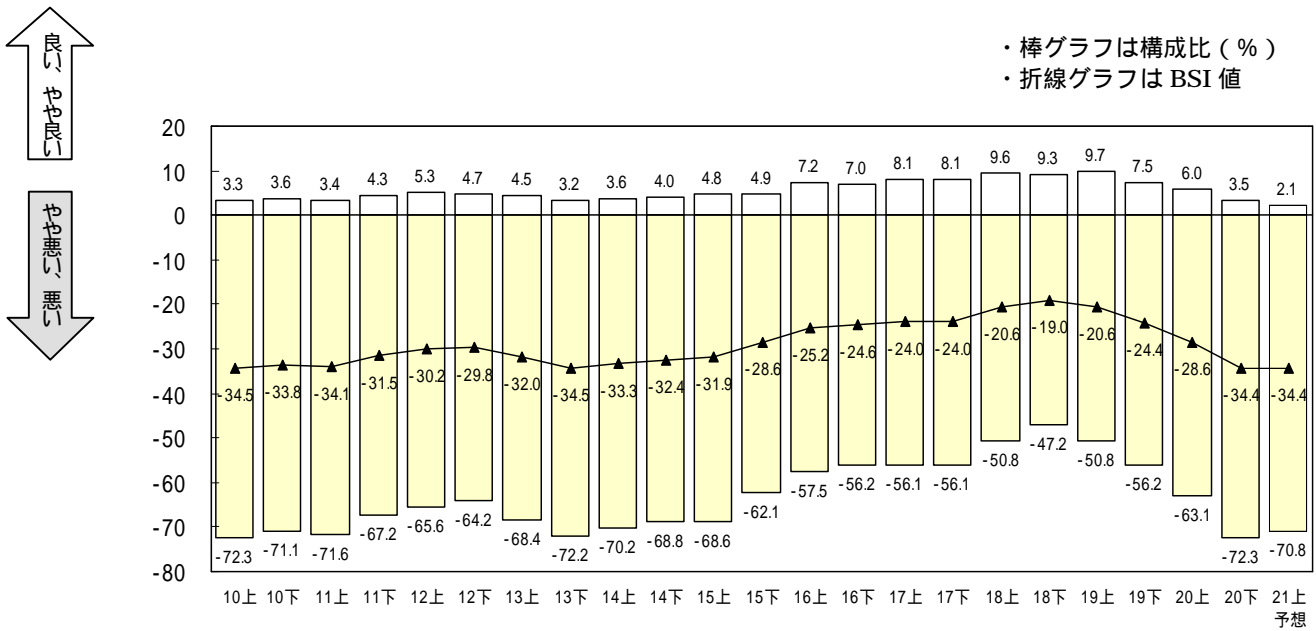


図 - 2 三重県下の経営現状と見通し



## 2. 売上状況と来期の見通し(表 - 2 参照)

### (1) 今期の動向

全産業の売上DIは今期実績値 61.0、小規模企業では 64.7と全体に比べて小規模企業でのDI値が高く、前期実績値 60.7に比べても4.0ポイントの悪化となった。

産業別で見ると、小売業で 67.0と最も悪く、飲食業では 22.2と他の業種に比べ低い値となった。

一方、小規模企業では、前期に比べ改善となった業種は製造業、飲食業で、それ以外の業種ではマイナス幅が拡大し悪化となった。

### (2) 今後の見通し

全産業の売上見通し判断DIは 56.1と、今期の現状実績値 61.0に比べ4.9ポイントマイナス幅が縮小し、回復傾向の見通しとなっている。

小規模企業で見ても売上見通し判断DIは 59.8と、今期の現状実績値 64.7に比べ4.9ポイントマイナス幅が縮小し、回復傾向の見通しとなっている。

産業別で見ると、飲食業を除く全ての業種でマイナス幅が縮小し改善見通しとなっている。小規模企業でも同様に飲食業を除き全ての業種で改善見通しとなった。

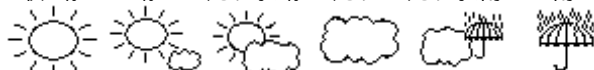
表 - 2 最近の売上と今後の見通し

期 産業	実 績			来期の 見通し	期 産業	実 績			来期の 見通し
	20年1 ~6月	20年7 ~12月	21年1 ~6月	21年7 ~12月		20年1 ~6月	20年7 ~12月	21年1 ~6月	21年7 ~12月
全 産 業	41.0	60.7	61.0 ( 64.7)	56.1 ( 59.8)	全 産 業				
製 造 業	30.1	68.5	60.9 ( 59.3)	51.9 ( 53.5)	製 造 業				
建 設 業	41.1	49.3	61.6 ( 63.3)	57.6 ( 61.0)	建 設 業				
卸 売 業	30.0	58.8	64.1 ( 72.0)	56.2 ( 64.0)	卸 売 業				
小 売 業	57.2	71.6	67.0 ( 73.5)	57.5 ( 59.6)	小 売 業				
飲 食 業	60.0	64.7	22.2 ( 60.0)	27.7 ( 63.1)	飲 食 業				
サ ー ビ ス 業	33.0	51.7	64.0 ( 70.2)	60.0 ( 58.6)	サ ー ビ ス 業				

DI = 好転(良い、やや良い)の割合 - 悪化  
(やや悪い、悪い)の割合 はマイナス表示

下段( )内DI値は小規模企業

表内の景気天気図は各期ごとのDI値により表示



景 気 判 断 D I

50以上100    25以上50未満    0以上25未満    0未満    25以上50未満    100  
50未満    25未満    0未満    25未満    50未満



### 3. 売上の現状（図 - 3・4 参照）

今期売上げが増加した企業は732企業中81企業で11.1%、小規模企業では497企業中50企業10.1%となった。

一方、今期売上げが減少した企業は732企業中528企業72.1%、小規模企業では497企業中371企業74.7%となった。

図 - 3 津地区の売上の現状と見通し

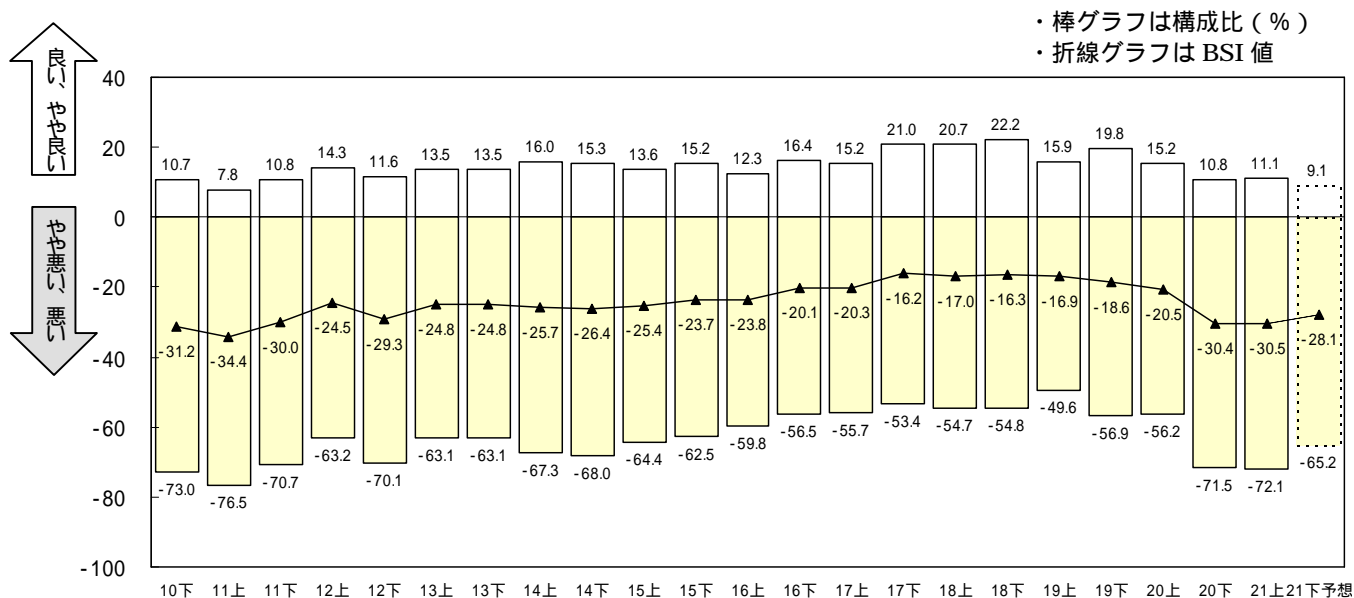
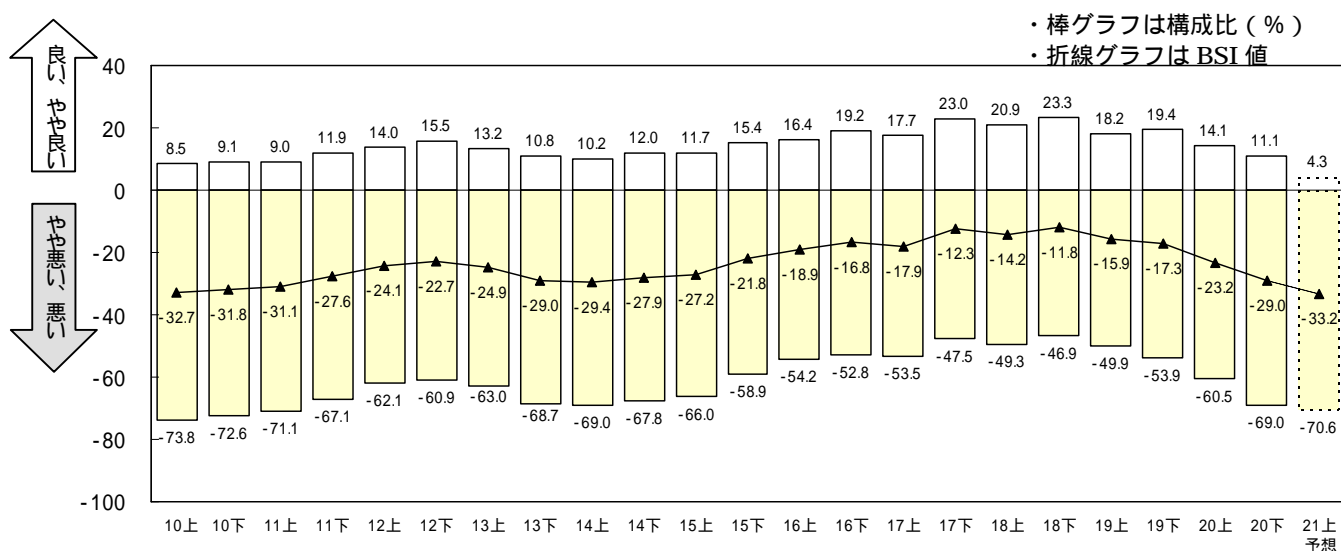


図 - 4 三重県下の売上の現状と見通し



## 4 . 利益状況

### 利益状況（表 - 3、図 - 5 参照）

全産業の利益判断DIは 62.6、小規模企業では 68.1と全体に比べて5.5ポイントマイナス幅が大きく、前期実績値 64.6と比べても3.7ポイント悪化となった。

産業別で見ると、最もDI値が低かったのが製造業で 57.9、一方、最も悪かったのが飲食業の 78.7となった。小規模企業では、改善となったのは製造業、卸売業、小売業、飲食業であった。

表 - 3 利益状況

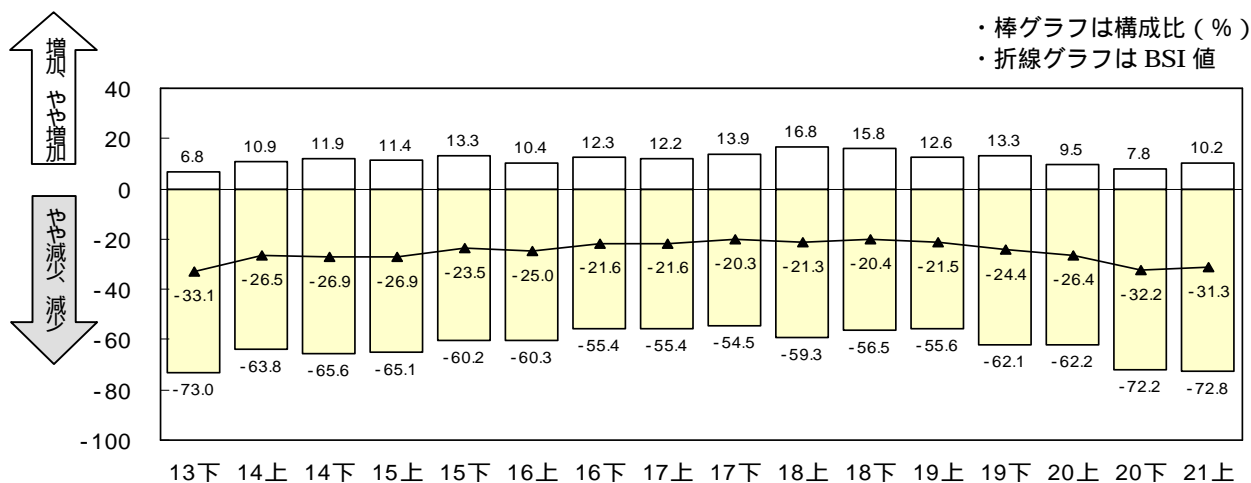
産業	期	績		
		20年1～6月期	20年7～12月期	21年1～6月期
全産業		52.7	64.4	62.6 ( 68.1)
製造業		60.3	74.0	57.9 ( 64.0)
建設業		47.9	56.3	68.2 ( 71.3)
卸売業		45.0	76.5	62.5 ( 72.0)
小売業		62.8	71.6	59.5 ( 66.6)
飲食業		75.0	70.6	78.7 ( 60.0)
サービス業		44.3	51.8	61.4 ( 65.5)

DI = 好転（高い）の割合 - 悪化（低下）の割合

はマイナス表示

下段( )内DI値は小規模企業

図 - 5 利益状況



## 5 . 販売条件と仕入条件

### (1) 販売条件 (表 - 4、図 - 6 参照)

全産業の販売条件判断DIは 56.0、小規模企業は 58.0となり小規模企業では前期実績値 53.6に比べ4.4ポイントマイナス幅が拡大し悪化となった。

産業別のDI値でみると飲食業 44.5、製造業 51.8、サービス業 54.7の順となっている。小規模企業では、製造業と小売業では改善しており、それ以外の業種では悪化となった。

表 - 4 販売条件

産 業	期	実 績		
		20年1～6月期	20年7～12月期	21年1～6月期
全 産 業		42.5	53.6	56.0 ( 58.0)
製 造 業		47.1	53.6	51.8 ( 52.3)
建 設 業		43.9	49.3	58.1 ( 60.4)
卸 売 業		25.0	41.1	57.8 ( 60.0)
小 売 業		55.7	64.1	59.4 ( 59.8)
飲 食 業		60.0	58.8	44.5 ( 60.0)
サ ー ビ ス 業		28.6	46.4	54.7 ( 55.9)

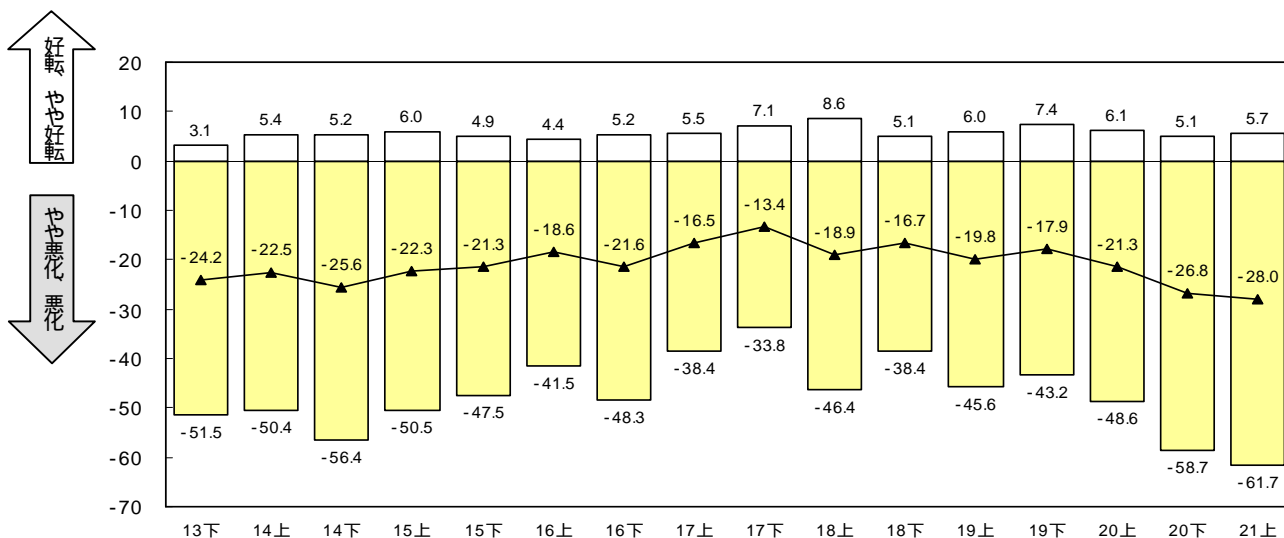
DI = 好転 (高い) の割合 - 悪化 (低下) の割合

はマイナス表示

下段( )内DI値は小規模企業

図 - 6 販売条件

・棒グラフは構成比 (%)  
・折線グラフはBSI値



(2) 仕入条件 (表 - 5、図 - 7 参照)

全産業の仕入条件判断DIは、30.2、小規模企業は34.8と前期実績値40.3と比べ5.5ポイントマイナス幅が縮小し改善となった。

産業別DI値では、製造業25.5、サービス業26.0、卸売業31.2の順となっている。小規模企業では、卸売業とサービス業では悪化となったが、それ以外の業種では改善となった。

表 - 5 仕入条件

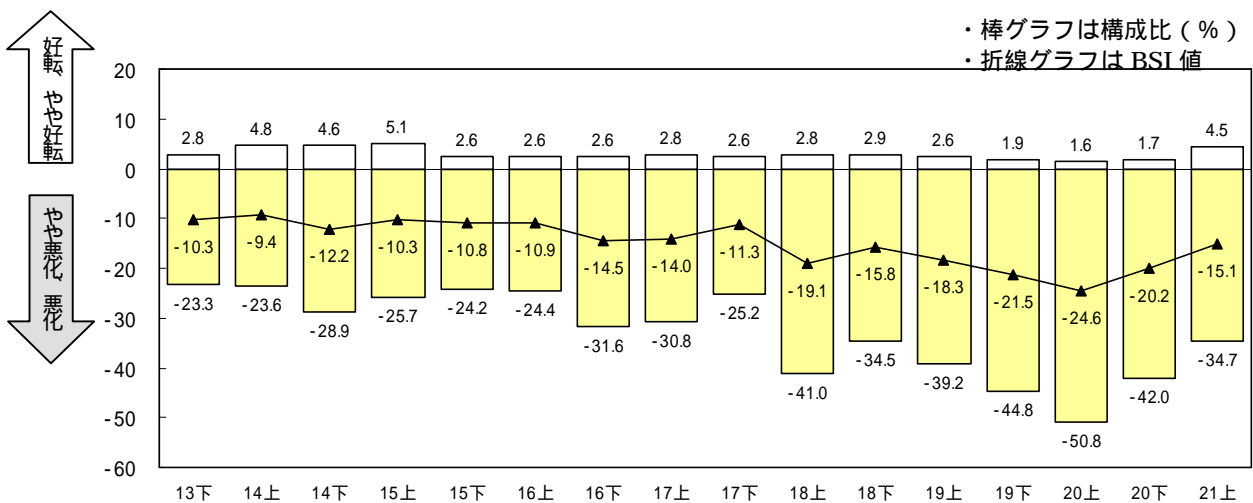
期 産 業	実 績		
	20年1～6月期	20年7～12月期	21年1～6月期
全 産 業	49.2	40.3	30.2 ( 34.8)
製 造 業	58.5	40.7	25.5 ( 32.5)
建 設 業	58.9	40.8	35.8 ( 36.8)
卸 売 業	45.0	35.3	31.2 ( 40.0)
小 売 業	47.2	44.8	32.1 ( 37.5)
飲 食 業	70.0	47.0	38.9 ( 30.0)
サ ー ビ ス 業	31.4	28.6	26.0 ( 33.3)

DI = 好転 (高い) の割合 - 悪化 (低下) の割合

はマイナス表示

下段( )内DI値は小規模企業

図 - 7 仕入条件



## 6 . 設備投資（表 - 6 参照）

### （1）今期の動向

今期設備投資を実施した企業は、732企業中133企業18.2%で、製造業24.1%（32企業）建設業13.1%（26企業）サービス業17.3%（26企業）小売業17.9%（19企業）が主となっている。小規模企業では、497企業中58企業11.7%で、低調な動きとなった。

### （2）来期の計画

全産業中、来期設備投資を予定している企業は732企業中101企業13.8%、小規模企業では、497企業中33企業6.6%で、全体的に来期の予定はさらに低調傾向である。

産業別で見ると、飲食業では、今期より約10%減少し、小規模企業では卸売業とともに0.0%と計画のある企業は無かった。

表 - 6 設備投資実施企業割合

（単位：％）

期 産 業	実 績			来期計画
	20年1～6月	20年7～12月	21年1～6月	21年7～12月
全 産 業	10.8	14.2	18.2 (11.7)	13.8 (6.6)
製 造 業	20.8	13.0	24.1 (12.8)	20.3 (4.7)
建 設 業	9.6	16.9	13.1 (13.0)	10.6 (8.5)
卸 売 業	5.0	5.9	14.1 (4.0)	9.4 (0.0)
小 売 業	4.3	13.4	17.9 (4.2)	10.4 (1.4)
飲 食 業	10.0	11.8	27.8 (10.0)	16.7 (0.0)
サービ業	12.9	16.1	17.3 (9.5)	12.7 (9.5)

下段( )内の値は小規模企業

## 7 . 資金繰りの動向（表 - 7、図 - 8 参照）

### （1）今期の動向

全産業の今期資金繰り判断DIは 40.2、小規模は 44.3と横ばい・やや悪化傾向となった。

産業別に見ると、小売業のみ小規模企業も含め改善、卸売業は小規模企業を除き横這いとなったものの、その他の業種は、小規模企業も含め、悪化となった。

### （2）来期の見通し

全産業の来期資金繰り判断DIは 41.7やや悪化、小規模企業では、 46.9と悪化傾向となった。

産業別に見てみると、小売業では、27.4、小規模企業でも29.2と改善され、飲食業もやや改善傾向にあるものの、建設業、卸売業、サービス業は悪化傾向、製造業はやや改善、小規模では悪化傾向にある。

表 - 7 資金繰り

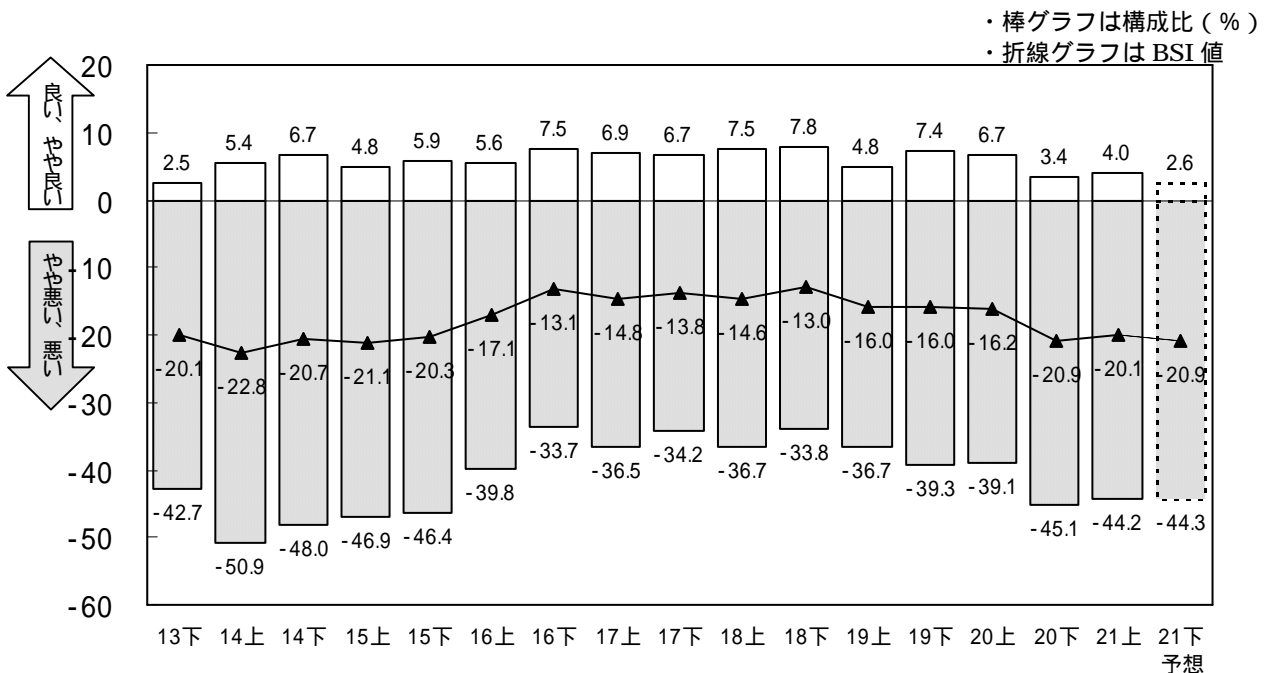
期 産業	実 績			来期見通し
	20年1～6月期	20年7～12月期	21年1～6月期	21年7～12月期
全 産 業	32.4	41.7	40.2 ( 44.3)	41.7 ( 46.9)
製 造 業	33.9	40.6	42.1 ( 49.9)	38.3 ( 51.2)
建 設 業	30.2	38.0	41.0 ( 42.4)	46.0 ( 46.8)
卸 売 業	15.0	41.2	37.5 ( 64.0)	40.6 ( 60.0)
小 売 業	38.6	47.7	30.3 ( 36.1)	27.4 ( 29.2)
飲 食 業	45.0	41.2	66.7 ( 50.0)	50.0 ( 40.0)
サ ー ビ ス 業	31.4	37.4	43.4 ( 46.5)	48.0 ( 54.7)

DI = 好転（高い）の割合 - 悪化（低下）の割合

はマイナス表示

下段( )内DI値は小規模企業

図 - 8 資金繰りの現状と見通し



## 8 . 借入の動向（表 - 8 参照）

全産業の借入難易度判断DIは 1.1、小規模企業でも 8.1と容易傾向が続いている。

産業別に見ると、製造業では2.8、小規模企業は4.4、小売業でも3.9、小規模企業でもでは4.2と容易傾向となった。

表 - 8 借入の難易度

期 業	実		績
	20年1～6月期	20年7～12月期	21年1～6月期
全 産 業	13.6	5.4	1.1 ( 8.1)
製 造 業	15.4	0.0	2.8 (4.4)
建 設 業	16.2	0.0	5.7 ( 8.8)
卸 売 業	9.1	16.7	5.3 ( 9.1)
小 売 業	19.1	11.1	3.9 (4.2)
飲 食 業	40.0	66.7	16.7 (0.0)
サ ー ビ ス 業	0.0	5.3	1.6 ( 38.1)

DI = 好転（高い）の割合 - 悪化（低下）の割合  
下段( )内の値は小規模企業

はマイナス表示

## 9 . 借入予定と借入希望先（図 - 9 参照）

全産業中、来期に借入を予定している企業は732企業中184企業で全体の25.1%となり、借入希望は増加。

産業別に見ても、ほぼ横並びに20%以上が「借入予定あり」としている。

借入希望先は全産業で民間金融機関64.7%と民間金融機関を希望する割合が多かった。

また資金用途は全産業では、運転資金83.2%、設備資金14.1%で、運転資金としての資金を希望している業種が多かった。

図 - 9 - 借入予定

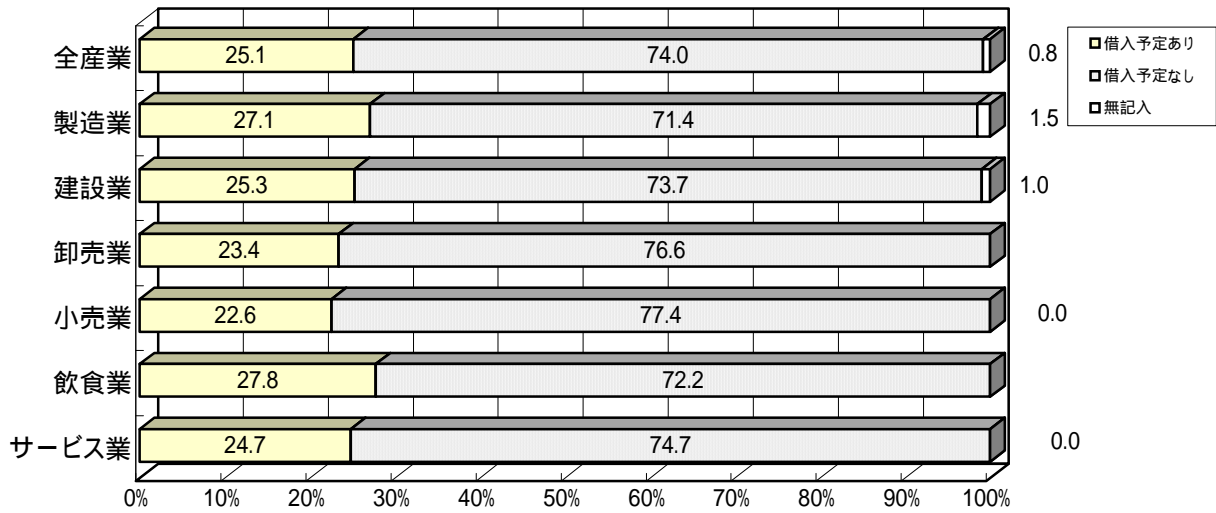


図 - 9 - 借入希望先

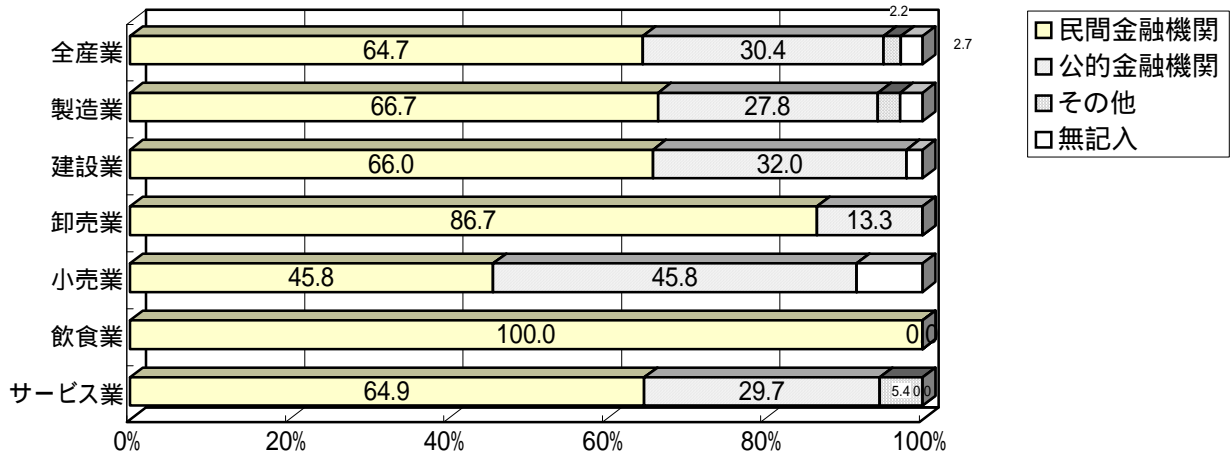
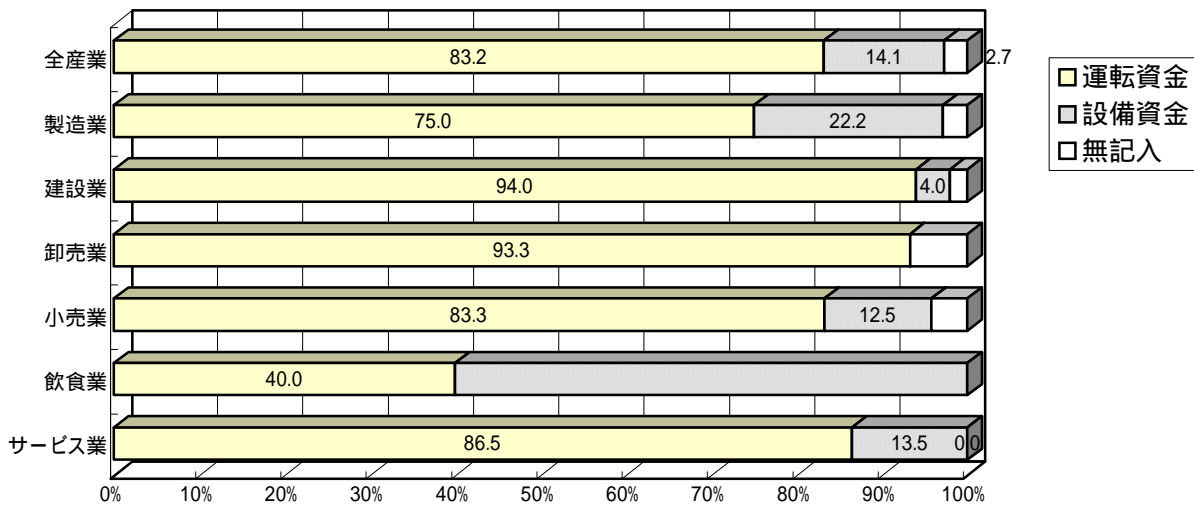


図 - 9 - 借入資金の使途予定





## 10. 経営上の問題点（3項目まで選択）（表 - 9、図 - 10 参照）

全産業の経営上の問題点は1・2位は13期連続で「売上・受注の停滞・減少」、「競争激化」となり、3位は「製品・商品の単価の下落」となった。

産業別で見ると、「売上・受注の停滞・減少」が全ての業種で1位となり、「競争激化」も製造業と飲食業は3位、それ以外の業種では2位となっている。

製造業では、前期2位であった「原材料高及び不足」は下位となった。飲食業では、「人件費以外の経費増加」が2位となった。

図 - 10 全産業・経営上の問題点

（単位：％）

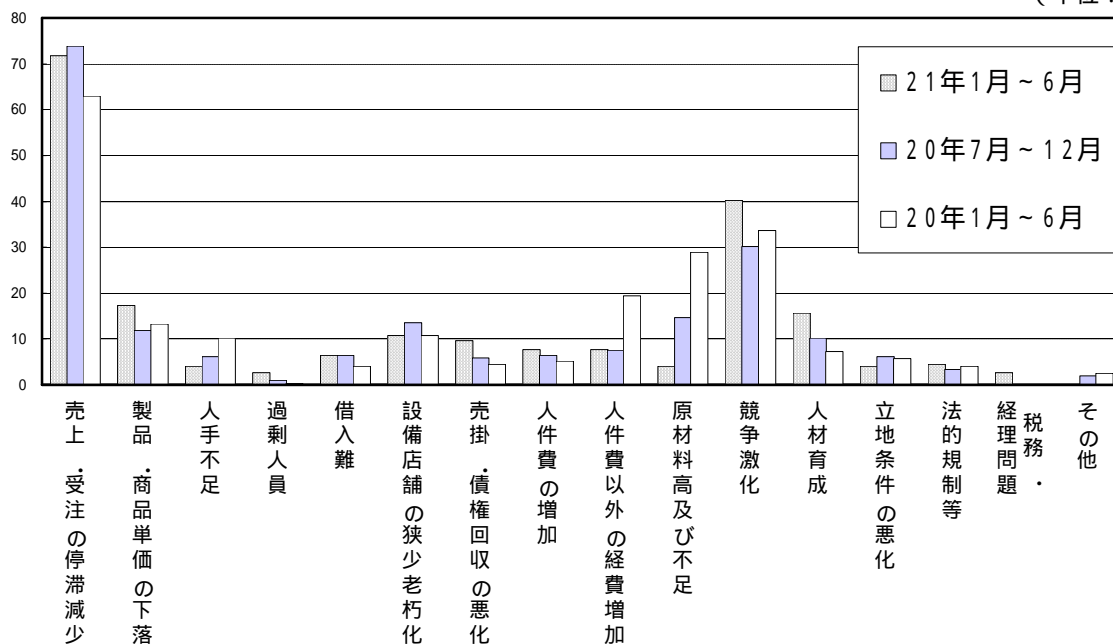


表 - 9 産業別・経営上の問題点

(単位：%)

順位 産業		20年7月～12月期			21年1月～6月期		
		1位	2位	3位	1位	2位	3位
産 業 別	全産業	売上・受注の 停滞減少 (73.9)	競争激化  (30.2)	原材料高 及び不足 (14.6)	売上・受注の 停滞減少 71.7	競争激化  40.2	製品・商品 単価の下落 17.3
	製造業	売上・受注の 停滞減少 (77.8)	原材料高 及び不足 (29.6)	・製品・商品 単価の下落 ・競争激化 (22.2)	売上・受注の 停滞減少 76.7	製品・商品 単価の下落 34.6	競争激化  28.6
	建設業	売上・受注の 停滞減少 (67.6)	競争激化  (33.8)	人材育成  (15.5)	売上・受注の 停滞減少 75.3	競争激化  50.0	製品・商品 単価の下落 18.2
	卸売業	売上・受注の 停滞減少 (88.2)	競争激化  (41.2)	原材料高 及び不足 (23.5)	売上・受注の 停滞減少 73.4	競争激化  42.2	製品・商品 単価の下落 21.9
	小売業	売上・受注の 停滞減少 (91.0)	競争激化  (31.3)	設備店舗の 狭小老朽化 (17.9)	売上・受注の 停滞減少 69.8	競争激化  49.1	人材育成の 悪化 17.0
	飲食業	売上・受注の 停滞減少 (70.6)	設備店舗の 狭小老朽化 (35.3)	・人件費の増加 ・原材料高 及び不足 (17.6)	売上・受注の 停滞減少 66.7	人件費以外の 経費増加 38.9	・設備店舗の 狭小老朽化 ・人件費の増加 ・競争激化 27.8
	サービス業	売上・受注の 停滞減少 (57.1)	競争激化  (32.1)	・設備店舗の 狭小老朽化 ・原材料高 及び不足 (14.3)	売上・受注の 停滞減少 67.3	競争激化  36.7	設備店舗の 狭小老朽化 15.3

津地区の小規模企業景況 54

平成21年10月発行

編集 津商工会議所・中小企業相談所

発行 津商工会議所

(本所)

〒514-0033 津市丸之内29-14

TEL 228-9141 FAX 228-7317

(久居支所)

〒514-1135 津市久居本町1347-1

TEL 255-2343 FAX 256-3665